

防犯一口広報

- 令和5年中の一宮警察署管内の刑法犯認知件数は2,024件で、前年比で+280件と大幅な増加となりました。
- 罪種別では、自動車関連窃盗（自動車盗、車上ねらい、部品ねらい）と特殊詐欺の被害増加が顕著で、車上ねらいの発生件数（97件）は県下ワースト（警察署管内別）でした。
- 特殊詐欺は、被害件数が60件、被害総額は約1億6,400万円に上り、被害件数は過去最悪を更新しました。

特に架空料金請求詐欺の手口による被害が多発し、令和4年と比較して20件の増加となっています。パソコンのウイルス感染を装う手口のほか、携帯電話事業者を装って「アプリの未払い料金がある」旨のメールを送りつける手口、老人ホームの入居権利に関する名義貸しからの金銭を迫る手口、国際電話を使った手口等によって被害が確認されています。

実在する会社からの連絡でも安易に応答することなく、一旦電話を切り、家族や警察に相談しましょう。

また、在宅時でも常時、自宅の固定電話を留守番電話設定にするとともに、特殊詐欺対策装置を活用し、犯人と直接会話をしない物理的な対策をとることが重要です。

交通安全一口広報

- 令和5年中の一宮市内の交通事故死者数は、前年より4名多い10名で、4年振りに二桁となりました。10件中8件は交差点またはその付近にて発生しており、5件で65歳以上の高齢者が亡くなっています。
- 人身交通事故件数は1,414件（前年比+154件）、交通事故死傷者数は1,670人（前年比+185人）で、いずれも前年より大幅に増加しました。歩行者や自転車利用者が事故に巻き込まれるケースが多発し、その多くで歩行者の横断禁止場所における横断や、自転車利用者の一時不停止といった交通ルール違反が事故原因となっています。

歩行者も自転車利用者も交通ルールを遵守するとともに、反射材の活用等、事故に巻き込まれないための対策を講じましょう。

- 自転車乗車時における死亡事故の約7割は、頭部に致命傷を負ったことで発生しています。ヘルメットの着用の有無によって被害の程度が大きく変わることから、自転車乗車時は年齢に関係なく、ヘルメットを着用し、自身の命を守りましょう。